

公民館運営審議会会長 勝谷 美紀子

令和3年度東京都公民館協議会委員部第1回会研修会

1. 日時：令和3年12月15日 14:00～16:00
2. 会場：日野市公民館（zoom参加あり）
3. 講師：菅沼 七三雄氏（小金井市前公運審委員）

テーマ “公民館を育てる仕組み・支える仕組みを考えてみよう”

小金井市公民館は社会教育実践の場として、設立から68年を迎えられこの間幾多の苦勞と熱意により、学びをベースに人づくり、地域づくりを主体として活動発展し市民のための地域の拠点として、現在に至っていると、菅沼氏が公民館事業に関わってきた経験からの講義には、小平市公民館において、公民館を育てる仕組みは学ぶところがありました。

貫井北センター設立当時小平市公運審委員は見学と事業企画委員会についての意見交換会をしたこともあり、市民の目線で対応するオープン的なロビーに感動した記憶がありました。

企画実行委員制度の返還をしながら準備会方式への切り替えをへて現在に至っている。その準備方式のメリットとして（市民公募・企画実行委員・職員）。

- ・今まで公民館活動に縁のなかった市民の社会参加の窓口となる（人材発掘）
- ・地域づくりの人材の成長、養成
- ・企画実行委員の卵の養成にもなる。
- ・色々な価値観の世代の市民が集まり、対話を通じ、市民、地域課題を具体化した魅力ある学びのテーマの講座となる。
- ・上記過程の経験が職員の専門性等実力の養成にも繋がる。

市民が参加し作る自主講座は小平市事業企画委員会と目的は同じであると思いました。又、指定管理制度のメリット・デメリットの説明もあり、今後この制度の導入の検討もある小平市公民館の課題でもあると思いました。

まとめとして。

公民館は社会教育の実践の場であり、つどい・学び・つながる地域の拠点。

公民館活動の原点は学びにある。その主体は市民。

講座受講後、参加者間に共通認識、意識が芽生え、人づくり、活動団体結成、居場所づくり、地域づくりまでに至るのが望ましい。

新しい活動団体の育成のための仕組みづくり。市民の声を反映する体制の充実。小平市事業企画委員会企画講座受講のサークル化により、仲間づくり、コミュニティの拠点として居場所づくりに繋がっているとも思いました。

時代の流れと共に市民のニーズに対応した公民館の仕組みを考える大変身近な講義に参加して良かったと思いました。